

会 議 録

会議の名称	小金井市地域公共交通活性化協議会
事務局	都市整備部交通対策課
開催日時	令和8年5月28日（木）16時00分～18時00分
開催場所	萌え木ホール 3階 A会議室
出席者	[委員（敬称略）] 鈴木文彦、倉科大地（代理出席）、岩澤貴顕、富樫秀樹、三浦裕介、宮下誠、作井啓介、高橋哲哉、信山重広、平野景一、内山嘉津夫、川村英輝、新井卓也、並木正彦（代理出席）、青木亮、池内隆司、坂本敬、永田尚人、平野武、小田切美穂、紺野有佳、斎藤健夫、小根澤裕子、田部井一嘉、日野靖久 [市事務局]渡邊健介（都市整備部交通対策課長）、千葉祐生（都市整備部交通対策課交通対策係長）、越聖子（都市整備部交通対策課交通対策係主任）、パシフィックコンサルタンツ(株)
傍聴の可否	可・一部不可・不可
傍聴者数	5人
会議次第	議題 ①前回会議でのご意見について ②第7回部会の報告について ③こがねいバスフェスについて ④パブリックコメントの実施について 【交通ネットワーク再編事業】 ・市南部の再編案 ・市北部の再編案 【C o C oバス運賃】 ・C o C oバスの運賃改定案 ⑤地域懇談会・オープンハウスの実施について ⑥C o C oバス・ミニ車両のリフト装備について ⑦令和7年度C o C oバス利用実績等について ⑧令和7年度シェアサイクルの利用実績報告について 報告 ①ムーバス再構築事業について ②J R中央線武蔵小金井駅のホームドア運用開始について [資料] 資料1 前回会議（令和7年度第4回協議会）でのご意見 資料2 第7回部会の報告 資料3 交通ネットワーク再編（案）及びC o C oバス運賃改定（案）のパブリックコメントの実施について 資料4 市北部（北東部循環・関野橋循環）の再編（案）、市南部（中町循環・東町循環）の再編（案）のうち、中町循環の時刻表改正（案） 資料5 C o C oバスの運賃改定（案） 資料6 地域懇談会・オープンハウスの実施について

	資料 7 C o C o バス・ミニ車両のリフト装備について 資料 8 令和 7 年度 C o C o バス利用実績等について（速報） 資料 9 令和 7 年度シェアサイクルの利用実績報告について 資料 1 0 J R 中央線武蔵小金井駅ホームドア使用開始ポスター 資料 1 1 C o C o バスだより v o l . 1 4、1 5 席次表
発言内容・ 発言者名 （主な発言 要旨）	事務局： ただいまから令和 8 年度第 1 回小金井市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 —会議成立の報告— —資料確認— —会議録について— —委員紹介— 会長： 皆さんこんにちは。今日は大変蒸し暑くなりましたが、そんな中、この小金井市の地域公共交通活性化協議会の時間帯としては非常にイレギュラーな時間にお集まりいただきまして大変ありがとうございます。 先日、4 月 2 5 日にこがねいバスフェスを開催しまして、多くの方に来ていただきました。公共交通にそれなりに関心を持っていただけたのかなという気がしております。 実はその後、私なり、あるいは数社の皆様、小平市でも同じようなイベントを行った関係もございまして、いろいろ印象が重なったりしているのですが、いずれにしても、公共交通は無関心層というのがどうしても一定数います。なるべく多くの方に関心を持っていただく。もちろん利用促進ということはよく言われることで、利用していただくことは大切なことなのですが、その前の段階として、まずは関心を持っていただくということも大切だと思います。イベントを含め、多くの方に公共交通を知ってもらえるようなことも進めていきたいと思います。よろしく願いいたします。 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。 今日は議題 8 件と報告 2 件ということで少々盛りだくさんな内容になっておりますが、まず議題①前回会議でのご意見について事務局から説明をお願いいたします。 事務局： —資料 1 に沿って説明—

会長：

いただいたご意見を参考にして本日の資料を作成しているということですので、もし取り立ててご質問がなければ、この後の議論の中で議論していただければと思います。

それでは、議題②、第7回部会の報告について事務局からお願いいたします。

事務局：

—資料2に沿って説明—

会長：

何かご質問はございますでしょうか。これを反映した資料が後ほどの議題の中で出てまいりますので、そこでご議論いただければと思います。特によろしいですか。

それでは、続きまして、議題3番目、こがねいバスフェスについて、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

令和8年4月25日に「SOCOLA武蔵小金井クロス クロスコート」において、COCOバスを運行する京王バス株式会社の他、市内を運行するバス事業者3者、COCOバス・ミニを運行する、つくば観光交通株式会社にご協力をいただき、「こがねい★バスフェス the 2nd」を開催しました。

バスフェスは地域公共交通活性化協議会と市の共催で実施したもので、バスぷら博士による小話コーナー、バス会社によるグッズ販売、COCOバス1日乗車券の販売、バス会社4者のゆるキャラの出演、COCOバスとCOCOバス・ミニの展示と乗車体験に加え、運転士・整備士のお仕事紹介コーナーを設置するなど、大変、多くの方にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

運転士不足等によるバス事業者を取巻く状況等を踏まえ、はじめての取組みとして、運転士・整備士のお仕事紹介コーナーを設置しました。お仕事紹介コーナーでは、各バス事業者の運転士等の募集パンフレットの配布、PR動画の上映、バス運転士と来場者とは直接、お話しできた、ということで、バス事業者からは好評の声をいただいております。

また、当日は、小金井警察署が、フェスティバルコートにおいて、交通安全フェスティバルを開催し、青切符の周知、バスぷら博士と警察の連携によるバスの死角に関する小話などを通して警察とも連携しつつ、クロスコートとフェスティバルコートでの一体的な賑わいを創出することができました。

参加いただいたバス事業者の皆さま、会長をはじめ、ご協力いただきました委員の皆さまにおかれましては、土曜日のお忙しい中、ご理解、ご協力いただきましてありがとうございました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

また、小金井警察の並木課長をはじめ、警察署員の皆さまにつきましても、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

担当としましては、今後も機会を捉えて、バス業界の現状や取り組みを知っていただけるよう、バス事業者や関係機関とも連携し、積極的に取り組んでまいります。

会長：

何かご意見、あるいはご感想はございますでしょうか。何人かの方は私も会場でお見かけをしたのですが、青木副会長、いかがでしょうか。

青木副会長：

私も参加させていただきました。今回2回目ということで、ぜひ継続していただきたい。バスフェスみたいな形でやると、日ごろ来ない方やお子様が来られるので、当然親御さんも来られます。そういう形でC o C oバスのこと、その他を知っていただいたり、バス運転手が不足してることについてもコーナーを設けてやったりしますと、実際にバスの運転士になるならないということは横に置いて、運転手さんが不足しているんだなとか、その結果減便になっているという現状を知ってもらういい機会だと思います。いろいろ準備等大変だと思いますが、ぜひ継続するようよろしくお願いします。

会長：

ありがとうございます。小田切さんもお見かけしたかと思うのですが、いかがですか。

小田切委員：

私はノベルティの風船を作っていました。バス会社のグッズがかわいくて買ったかったのですが、1万円札で買うのは申し訳ないと思ってグッズが買えなかったのが残念でした。

会長：

ありがとうございました。バス事業者さんからも感想を伺いたいと思います。関東バスの作井さん、いらっしゃっていましたか、いかがですか。

作井委員：

2年前は私も本社の部署にいなかったので参加していませんでしたが、今回初めての参加で、場所が駅前ということもあって、多くの方が通りすがりに来ていただいて、すごく場所的によかったです。予算の問題とかスケジュールもあると思うのですが、恒例行事になっていったらなと思います。またよろしくお願いします。ありがとうございます。

会長：

ありがとうございました。小田急バスの宮下さん、何か。

宮下委員：

私も初めて参加させていただいて、雨は降らなかったのですが、若干寒かったので、人の出が３年前よりは少ないと伺ったのですが、それでも天気に恵まれ、かなりの方に来ていただいたなど。

ゆるキャラもお子様にかなり好評で、集客としては非常にいいツールでした。先ほど青木さんがおっしゃっていただいたように、バスの運転手が足りないということをかなり知っていただいたかなと思います。引き続き参加したいと思います。

会長：

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。

平野委員：

皆さん CoCo バスだよりもよく読んでおられるんです。今回の紹介で、カンパネッラはどこにあるんですかと聞かれたのですが、地図を見たら太陽病院の近くではないでしょうか。今度行ってみようということで、意外とこういった飲食関係は人気があるように思います。

そういうことで、やはりこれはずっと続けていただきたいと思います。

会長：

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか。では、皆さんの総意として続けていただきたいと思いますということですので、ぜひその方向で。

それでは、こがねいバスフェスについては以上とさせていただきます。

４番目、パブリックコメントの実施について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 3 に沿って説明—

会長：

パブリックコメントの実施そのものについて何かご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、次に、パブリックコメントにかける内容になりますが、３つに区切って説明、議論を行いたいと思います。

まず、市北部の再編案について事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 4 に沿って説明—

会長：

市北部の再編案について事務局から説明を受けました。前回私からも申し上げたように、もともと南部の東町循環と中町循環の撤退という京王バスからの申し入れからスタートした話という中で、きちんと説明をしていかないと、なぜ北部の再編をするんだと。特に北東部循環にしても関野橋循環にしても若干頻度が下がるというような状況の中で考えたときに、なぜそういう再編を行うのかということを中心に説明していく必要があるだろうということで、部会の中でもそういったご意見をいただきながら今のような修正をしていただいたわけですから。

結果的には京王バスからの申し入れを噛み砕くと、バス 2 台分の資源を減らせれば継続が可能であるという中で、南部においては東町ルートをつくばにやっていただくというような形の中で 1 台の削減を可能にしている。北部についても市域全体で考える中で、もともとあまり採算性という意味では状況のよくなかった関野橋循環を合わせて、どう再編したら全体としての最適化ができるのかというあたりを議論した結果として今の案が出てきたわけです。

ですから、この辺をきちんと説明し、わかっていただけるような形にした上でパブリックコメントに出すべきだろうという前回の部会でのご意見を反映して資料を作ったという形になります。

そのように市民、利用者の方にご理解をいただきながらこの再編を進めていくという観点を忘れないようにしながら議論していきたいと思いますが、ただいまのご説明に関してご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。

永田委員：

2 ページの京王バスと市との協議を実施ということですが、赤字で公共交通について書かれていて「交通ネットワークのあり方」ということですが、これについてはあくまでも公共交通と思われるので、「公共交通ネットワークのあり方」としたほうがよいのではないかと思います。ただ「交通ネットワーク」と書かれてしまうと道路の交通ネットワークも含めての話になってくるという認識がありますので、修正いただければと思います。

会長：

事務局、いかがでしょうか。

事務局：

いただいたご意見を踏まえて修正させていただきます。

会長：

ほかに。

斎藤委員：

5 ページと 6 ページですが、まず 5 ページの検討結果のところの 7 行目、「バス 1 台の削減を図る」というところがあるのですが、これは具体的に京王バスのバス 1 台分相当のような書き方で、具体的に京王バスのバスを削減するんだという、先ほど会長がおっしゃられましたが、そのような表現にしたほうがわかりやすいのではないかと。

同様に、6 ページの 2 行目も「バス 1 台分」を「京王バスのバス 1 台相当分」という形に具体的に書いたほうがわかりやすいのではないかと思います。以上です。

会長：

ありがとうございました。いかがですか。

事務局：

いただきましたご意見を踏まえて修正をさせていただきたいと思えます。

会長：

今ご意見をいただいたように、「1 台相当分」という表現のほうが正確です。ほかにはいかがでしょうか。

斎藤委員：

1 1 ページ、夕方以降の時間帯のバスの方向の図と、下に時刻表があるのですが、武蔵小金井発で 2 0 時発と夜はなっていますよね。図を見ると夕方出庫して、夜帰ってくるという形になっているので、東小金井駅の 1 7 時は武蔵小金井の北口で、2 0 時 1 7 分のところは東小金井発で逆なのかなと。

事務局：

時間帯が逆になっているかと思います。再度確認して、修正させていただきます。

会長：

三浦さん、いかがですか。

三浦委員：

1 1 ページの時刻表の表題が間違っている感じがです。左側が、武 0 3 なので、武蔵小金井駅北口発が 6 時 1 9 分であり、東小金井発武蔵小金井行きが 2 0 時 1 7 分なので。

事務局：

もし「発」を入れるのであれば、時刻の横に入れさせていただいたほうが、表示は03と04のみで、6時19分は武蔵小金井駅発の時刻で、20時17分は東小金井駅発の時刻です。ここの時刻表をどこかのバス停に貼ることはないのです。

会長：

系統別の時刻表にしてしまうと今のような混乱が起きる。

事務局：

時刻表を取りましょうか。表は取ってしまって、吹き出し部分にだけ入れる。

会長：

図の中に、朝の時間帯はこのルートで動くのが何時発とか、そういう入れ方のほうがいいかもしれないですね。

事務局から話していたのは、時刻表を入れるのではなくて、この図のほうに何時発というのを入れてはどうかという話をしています。

青木副会長：

図だけが残る感じですね。

永田委員：

1便ずつなので、図の中に発時刻を入れるだけ良いかと。

会長：

では、そうしましょう。いずれにしても片道1便の話なので、図の中に時刻を入れ込む形で対応するようにして、下の時刻表は取りましょう。ご指摘いただいてありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

坂本委員：

会長からも再三言われているように、結局京王バスからの申入れから始まった議論をずっと協議会、また部会を作って議論して、ここまでたどり着いたんですよね。これはパブコメなり、地域懇談会に出てこられた方になかなかわかりづらい。今これだけの資料を今日は簡単に説明していただきましたが、それは何度も協議会と部会を重ねて激論があって理解してきたわけです。

会長が言われたように、最初はある地区がゼロになるかもしれない、こういう空白地帯ができるということを覚悟してくださいということを京王バスから言われた。そこが発端になって、バス2台相当を何とか削らなければこの公共交通が回っていかないんだということで、いろいろなことを覚悟した結果、特に市北部については、今の関野橋循環と北東部循環を何とか組み合わせて、

空白地帯を作らないという命題で何度も作りながら、北部で少し痛みを分かち合ってやっていく方法がないかということを部会なり協議会でやってきたんですね。

ここまでできたという事を、私はこの委員会の誇りにしてもいいと思っていますんです。この案ができるというのは、京王バスも朝晩のバスは何とかするとか、いろいろな提案をしていただいた結果、与えられた資源の中で市民の利便性を最小限でも確保するため、また、空白地域を作らない、そしてなおかつ、特に北東部循環は1時間に3便出ているのが当たり前になっているけれど、それを少し我慢してもらって、梶野町の方から東小金井駅にも何とかバスを回すにはどうしたらいいかということで、北東部循環と関野橋循環をミックスしたような、こういう案がようやく目の見そうになってきたんですね。

ですから、私が今日何を言いたいかというと、パブコメとか地域懇談会の方には本当に一遍では理解できないかもしれない。自分の住んでいるところが少しでも便利になるというのが市民の要望ですから、説明される事務局の方、出席される委員の方も感情的にならずに、要するに懇切丁寧に、こういういろいろな経緯で、そうじゃないと公共交通がゼロのところと便利なところの差が生じたら、これは市としても困るし、市民としても利便性の点から問題なので、こういう視点でやってきたんだということをよく訴えていただきたい。

また、後で出てくると思うのですが、時刻表の修正とか、そういうものも少しでも市民の生活を守るためにも、京王バスも起点終点を変更して少しでも良くなるのではないとか、病院に行く中高年の人が乗ることが多いのだからこうしたとか、そういう出発点がこういうところから始まって、悲惨な状態になるかもしれないというところから、ここまでカバーリングしてきたんだということをベースに強調されてぜひ説明をしていただきたいと思います。

この案は、結果的に言えば今与えられた条件の中、限られた資源の中で、非常によくバランスが取れた案ではないかと私は思っています。1委員として、地元の住民に説明してください、あなた委員でしようと言われたら堂々と説明ができる案で良かったなと思っていますので、この様なことを言わせていただきました。パブコメと地域懇談会で市民との理解を深めていただいて成案にしていいただきたいというのが長年委員をやらせていただいている私の願いですので、よろしくお願いいたします。

会長：

ありがとうございました。最初の段階での提案をそのまま受け入れたらゼロになる地域が当然出てきて、そういうところからのスタートだったわけです。それをゼロにすることなく、この形にまとめてきて、結局ゼロの地域はなく、若干の不便なり、今までとダウンするところはあったとしても、ゼロにすることなくみ

んなが公共交通サービスを受けられるようになる形を編み出してきたというのは、確かに議論のたまものだと思いますので、事務局もひとつよろしく願いいたします。

事務局：

坂本委員、ありがとうございます。今お話を聞いていて泣きそうになりました。おっしゃったとおり、結構厳しいところから始まって、特に公募委員の皆様には何度も集まっていたいで、侃々諤々いろいろとご意見をいただきました。ありがとうございます。

この後の運賃の話もそうですが、持続可能な地域公共交通を維持していくためということで、そういう考えのもと、今後パブリックコメントや地域懇談会、オープンハウスがあるわけですが、ご理解いただけるように丁寧に説明してまいりたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

池内委員：

先ほどの部分ですが、ページ順について、その前に時刻表があるので、これを2番にして、またぎ利用は3番にするような形だとわかりやすいのかなと思うのですが。9ページに時刻表があって、そこに黄色で1便だけの武03、04が記されている。そうすると、この次に持ってきたほうがわかりやすいのではないかな。

会長：

(2)と(3)を逆にするということですね。そうですね。確かに時刻表の想定というところに時刻が入っています。事務局、どうですか。

事務局：

わかりやすくなるように、もう一度確認をしつつ、修正させていただきたいと思います。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、次に市南部の再編案のうち、中町循環の時刻表案について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料4に沿って説明—

会長：

ただいまの中町循環の再編案の中で、今回パブリックコメントに出す1つの中身が時刻表の変更という部分ですが、これについて何かご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。

斎藤委員：

13ページの(1)の背景とメリットのところですが、カッコの中ですが、「京王バスの担当営業所を変更するため、京王バスが運行するすべての路線のメリットとなります」というのはわかりづらい。すべての路線のメリットは何かという感じがするので、このところをわかりやすい表現にさせていただけたらありがたいと思った次第です。

会長：

ありがとうございます。事務局、いかがですか。

事務局：

今まで朝、北府中にある府中営業所から30分ぐらいかけて各始発の駅に行っていたものが、武蔵小金井駅北口の京王バスの車庫から出発することで、運転手不足ということで、移動距離も運転手の拘束時間になるので、そこが短くなりますというところをメリットとして表現しているので、今申し上げたようなところをもう少しわかりやすく表現したいと思います。

斎藤委員：

ありがとうございます。お願いします。

池内委員：

カッコは必要ないんじゃないですか。上だけでいいような気がします。

事務局：

そこも含めてわかりやすい内容にします。

会長：

カッコのところが仮になくても、その前の文章で説明はできる。確かにそれはそうですね。そこは事務局で検討してください。

ほかにはいかがでしょうか。

永田委員：

(3)の時刻表の変更のところですが、武蔵小金井駅が1便早くなると書いてございますが、始発が30分早くなるわけですね。1便というのはどうなのかというのがありますが、いかがでしょうか。

会長：

そうですね。始発が30分早くなるという書き方でいいかもしれないですね。

永田委員：

そのほうがいいと思います。

会長：

それでは、修正をするようにしたいと思います。
ほかにはいかがでしょうか。

三浦委員：

始発と終発が両方早くなる形になるので、始終発が30分早くなるというほうがきれいかなと思います。

会長：

武蔵小金井駅ですね。ほかはよろしいでしょうか。

それでは、市北部の再編案と市南部の中町循環の時刻表の再編についてのパブリックコメントは、意見があったところは修正した上で、この内容で行うこととしたいと思いますますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

次に、④のC o C oバス運賃の改定案について事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料5に沿って説明—

会長：

それでは、今事務局から説明がありましたパブリックコメントで行うC o C oバス運賃改定案について、ご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。

青木副会長：

1ページの吹き出し部分で、「補完してネットワークを形成するという考え方として望ましくありません」というのが、もう少しわかりやすい表現のほうがいいのかなという感じがいたします。
①の部分を受けているのだろうなという感じはするのですが。

もう1点が、6ページ、運賃改定の必要性で、C o C oバスを取り巻く状況の4つ目、「C o C oバスの運行経費がさらに増加する見込みです」ということで、人件費のアップというのはわかりやすいので、それで運賃を改定しなければいけないというのはわかるのですが、「令和9年度の京王バスの経費の算定方法の変

更及び経費項目の追加」は部会で議論を聞いていればわかるのですが、これだけ見ると一般の方は何のことかわからないという気がします。

会長：

ありがとうございました。事務局、いかがでしょうか。

事務局：

今すぐに表現が思い浮かばないところであるのですが、一旦事務局で検討させていただきまして、最終的には会長一任という形でよろしいでしょうか。

青木副会長：

はい、いいと思います。ただ、これはパブリックコメント用なので、わかりやすい表現にしていただければと思います。

事務局：

ありがとうございます。

会長：

1 ページは、言いたいことは一番上の「運賃格差があると」にそれぞれが続くのだらうと思うのですが、確かに言われてみるとちょっと理解しにくい部分がありますね。

それから、6 ページの京王バスの経費の算定方法の変更というのは、算定方法自体がどのように影響してくるのかというあたりは一般にはわからないだらうという気がしますので、そこは表現の仕方を検討する必要があるそうですね。

池内委員：

青木委員が言われたところは私もわかりづらいなというか、一番の大前提としてのコミュニティバスの成り立ちというか、要は交通空白地域を作らないということが大前提で、運賃を安くすることが目的ではないということは重要だと思うんです。要は交通空白地域を作らない、C o C o バスと路線バスとの共存といった内容に書き換えたらわかりやすいのかなと。だから運賃を改定するんですと持っていくためには、公共交通空白地域を作らないためにC o C o バスと路線バスで協働してネットワークを構築する必要がある、そのために運賃を改定しますみたいな部分が必要なのではないか。それが一番わかりやすい。安い運賃が目的ではないので、それを入れていただければいいのかなと思いました。

会長：

ありがとうございました。どうですか。

事務局：

ありがとうございます。5 ページのいただいた意見のところで追加をさせていただくのと、もう少し目立つような形でそれが表記できる正しい場所があれば、そこのところに記載を追加させていただくような形かなと思います。どこに記載するのが一番わかりやすいかはもう一度改めて検討させていただければと思います。

高橋委員：

私、初めてこの会議に参画させていただいて、勉強しながらですが、確認の意味を含めましてお伺いしたいと思うのですが、今回の運賃改定ということで、高齢者の方、また障害者の方等、移動を困難とされる方には割引率を設けておられるというイメージであると受け取れる部分があるのですが、一方で、子育て世代、また妊産婦、そういう方たちはここにはうたってはいないのですが、そこは市としては意識をしていないというイメージでよろしいでしょうか。要は子育て世代の方、妊産婦の方がお乗りになるときには全く健常者と一緒だという解釈、そのようなイメージで捉えてよろしいでしょうか。

事務局：

運賃に関してはおっしゃるとおり、一般の方と同じような形でお願いしているものです。ただ、バス自体が全席思いやりシートということで、そういった方が乗ってきたときには席をお譲りいただくとか、そういった方針というか、性格は持っていると考えております。運賃に関しては特段区別はしていないというところ です。

高橋委員：

わかりました。ありがとうございます。

斎藤委員：

5 ページ、検討結果の 1 つ目の枠の最後の文章に、「C o C o バス運行ガイドラインの内容に加え、運賃改定に関する今後の方針を定める」とあるのですが、この方針を定めることによって何か今後追録を発行するとか、そういったような理解なのでしょうか。それとも別のやり方になるのでしょうか。

事務局：

こちらの冊子が C o C o バス運行ガイドラインになるのですが、差し込みのページを追加するとか、そういった形で方針として規定していきたいと思っております。

斎藤委員：

追録ということですね。承知しました。

永田委員：

5 ページ、検討結果の 2 つ目、路線バスとコミュニティバスが補完し合うという市の考え方が多分根底にあると思うのですが、であれば、これは赤字で表記されたらいかがでしょうか。ここは市の方々が一番メインで考えられていると思いますので、ご検討いただければいいというのが 1 つございます。

あと、4 ページの最後のところですが、「市人件費や物価等の高騰に伴い」と記載がありますが、これは市の人件費なのでしょうか。

事務局：

誤植です。我々の人件費は関係ないです。

永田委員：

2 ページの道路・バス停留所の条件のところですが、道路の幅員のところ、小金井市は道路幅員が狭いところが顕著だと思うのですが、ポンチョの車両が走れる幅員は何 m 以上なのか。ワゴン車については 4 m なのか、4 m よりもっと必要なのか、その辺を明確にしていただけると走れるところが明確になるというか、何で走れないのかという、そういう発想になるかもしれないので、ご検討いただければありがたいのですが。

事務局：

道路幅員に関しましては、C o C o バスの運行ガイドラインの中でかなり細かく路側帯がある場合、無い場合ですとか、記載されております。このページでその部分まで表現するのは難しいですが、C o C o バス運行ガイドラインの中では幅員の通れる車両、サイズを記載しておりますので、そちらを確認いただく形になろうかと思います

永田委員：

最低でもどれぐらいの幅員なんだというのを記載されてもよろしいかなと思ったのですが。

事務局：

ポンチョ車両の場合ですと、路側帯が両側にある場合ですと、車道で 4.66 m、道路前幅員で 6.16 m。

永田委員：

その認識というか、多分皆さんあまりおわかりになっていないと思うので、逆に最低でもこれぐらい必要ということが明確になっていけば、走れるルートが限られてくることがよくわかるかなと思ってお聞きしました。ワゴン車両の場合も 4.66 m ですか。

事務局：

ワゴンですと、同じ条件で車道が4.26m、道路前幅員で5.76mです。思ったよりあまり変わらないですね。

永田委員：

変わらないですけど、ワゴン車だった、4mぐらいだったら通れるのではないかと考えている方が一般の市民の方は多分多いと思うんです。なので、そういうことはある程度理解していただくということが必要だと思ってご質問しました。

事務局：

車両制限は申し上げたような幅員で決まっていますが、C o C oバス自体は過去から走っておりますので、昔から走っているルートに関しては先ほど申し上げた幅員より狭いところを走っているのが実情でございます。今後新たに狭い道路を通ろうとすると関わってきますという形になります。

永田委員：

4.5mぐらいあれば走れるという感覚なのかなと思っていました。ありがとうございました。

平野委員：

お願いなのですが、先日、東小金井駅でC o C oバスに乗ろうと思って待っていたんです。そうしたら、C o C oバスとムーバスが並んでいるんです。ムーバスの方が何を言うかと思ったら、C o C oバスは何で180円で、ムーバスは100円なのかという夫婦で会話をしていたのを聞いていたら、旦那が言うには、小金井市は貧乏だから、武蔵野市は金を持っているからなんだよという会話が耳に入ったんです。5ページに「100円運賃を維持している事例がある中で」とあり、右側に「丁寧な説明に努める」と書いてあるのですが、ここで今度の地域懇談会ではそういった質問が出てくるのではないかと私は予想しています。そういった意味で、なぜムーバスが100円で、C o C oバスが180円なのか、距離的にはそんなに変わらないと思っているのですが、説明ができるようにしておいていただきたいと思います。

事務局：

部会の中でいろいろとご意見をいただきながら、我々もしっかりと考え方を整理して、なぜここで値上げをしなければいけないのかということはしっかりと説明できるようにして、オープンハウス、地域懇談会に臨みたいと思います。

市としては、当然財政状況の違いというのは多少なりとも関係はしていると思いますが、現在我々担当として考えているのは、市、バス事業者、利用者それぞれ3者で相応の負担をしていただいて、今後も持続可能な地域公共交通を支えていく、そういう考

え方に基づいて今回運賃改定をしたいというところはしっかり説明していきたく思っております。

紺野委員：

資料４、５もそうなのですが、文章の構成の流れがすごくきれいに作ってくださっているなと思ったのですが、一番大事なメインの、例えば資料５だと検討案が最後のほうに載っているのですが、最後になっている大事なことを一番最初に持ってくるというのは流れ的にはあまりスタンダードではないのですか。例えばこの案をあまり知らない人が見たときに、最初から読んでいくと途中で置いていかれてしまう人がいるかなと思ったりしたのですが。

事務局：

若干わかりづらさというか、最初に結論を置いて、その後にという方法もあろうかと思うのですが、この間、ずっと部会を通して作成してきた資料となりますので、今の段階でそこを抜本的に変えるというのは、申し訳ないのですが、少し難しいのかなと。今回いろいろご意見をいただいていますので、少しでもわかりやすくなるような形で修正できるものについては修正できる範囲で対応したいと思います。

斎藤委員：

まず６ページですが、赤で囲んだところで、「準備費用が発生します」で、「運賃改定時が発生する費用のため、再編と同時期にすることでコスト削減となります」ということで、準備費用とコスト削減というのはイコールになる、準備費用の削減になると思うのですが、その下のところで、「開催の負担が軽減します」となっていて、要するに開催する負担が軽減するという形の流れになっているので、上のほうの「準備費用が発生します」に対応して、コスト削減を「準備費用を減らせます」みたいな表現にしたほうが流れ的にはわかりやすいのではないかと思います。

７ページですが、「運賃に対する方針」と赤で囲んでありますが、そこに小児運賃とか高齢者、障害者割引が出ているのですが、今の運賃の値段だったら別に端数は生じないのですが、今後、運賃の改定等があったときに、場合によっては小児運賃で１０円未満の端数が発生する可能性があると思うので、この方針に追加して、「１０円未満の端数は１０円単位に切り上げる」という旨の表現を追加したほうがよいのではないかと思います。

事務局：

１点目については、もう１回こういった表現がわかりやすいか整理したいと思います。

２点目については、ほかの自治体でも同じような事例があるかと思しますので、そういう形なども参考にして、修正が必要であ

れば修正したいと考えております。

会長：

2点目に関しては、運賃に関する方針の小児運賃及び障害者割引のところに、たいていの場合は端数はこうしますというカッコ書きをつけていることが多いかなという気はします。

1つ目のほうは、確かに言わんとするところはよくわかります。つまり運賃改定をここで行わなくてもこれだけの手間が発生します。同時にやることでその辺が相殺されるみたいなことを表したいわけですね。

ほかにはいかがでしょうか。

よろしければ、ご指摘いただいた点、修正結果につきましては時間的なこともありますので、私のほうでチェックさせていただくことでよろしいですか。それでは、そのような形で、いただいたご意見に基づく修正を行った上で、パブリックコメントはこうした内容で行うということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきたいと思います。

続きまして、議題の⑤地域懇談会・オープンハウスの実施について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料6に沿って説明—

会長：

何かご質問、ご意見はございますか。

小田切委員：

オープンハウスのときに、東小金井は改札が2つあるので、小さいほうの改札に何も掲示されていないので、ホームから直接そちらに出てしまうと何をやっているかというのが全然わからないので、何か掲示したりとか、お知らせとか、そういうのがあってもいいのかなと気になりました。

会長：

ありがとうございます。事務局、いかがですか。

事務局：

J Rさんと相談する案件かなと思います。nonowa口のほうに何か掲示ができるかどうか相談して、可能であれば対応したいと思います。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。

青木副会長：

オープンハウスで教えていただきたいのですが、前回、ごみか何か市の別の企画も同時期にやっていたのですが、今回はそういう予定はあるのでしょうか。

事務局：

特に聞いていないのですが、確認しておきます。

会長：

ほかはいかがですか。それでは、よろしければこのような形で地域懇談会とオープンハウスを実施するということをお願いいたします。

続きまして、議題⑥ＣｏＣｏバス・ミニ車両のリフト装備について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 7 に沿って説明—

会長：

ただいま説明がございましたが、リフト装備に関する適用除外について何かご質問、ご意見があればお願いしたいと思います。特段ないでしょうか。

それでは、ただいま説明があったような方向で進めさせていただくということよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、適用除外の方向で進めさせていただきたいと思います。

続きまして、議題⑦令和 7 年度ＣｏＣｏバス利用実績等について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 8 に沿って説明—

会長：

ただいまの説明に、何かご質問、ご意見、あるいはご感想等はございますでしょうか。

青木副会長：

少々教えていただきたいのですが、収支率を見てみると、中町循環がここ最近非常によくなっているというか、数値が赤字では

あってもかなり減ってきているのですが、これは何か理由があるのでしょうか。

事務局：

令和５年度に再編をしたときに、回数券について、委託店舗での販売金額をどう振り分けようかという話で京王バスと調整をいたしました。そのときに、平日、休日に何日間か乗降調査をしまして、回数券の使用割合、使用人数を出しまして、その按分をした結果、中町循環が回数券の利用率がほかの路線よりも高かったんですね。そうすると、どうしても按分すると中町のほうに大きく数値としては出てしまう。ただ、１枚１枚カウントするわけにはいけないので、利用者数はどうしてもそういうふうな計算の仕方になります。

青木副会長：

按分すれば動くぐらいの大きな利用者の数になったのですね。わかりました。

会長：

ほかにはよろしいですか。それでは、ほかにご意見等がないようですので、次に進めさせていただきます。

議題⑧令和７年度シェアサイクルの利用実績報告について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

—資料 9 に沿って説明—

会長：

何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

池内委員：

補助金は出していないんですよね。

事務局：

協定を締結し、やっていただいて、補助金は支出していません。小金井のエリアですと、まだまだラックを置けば利用者が増えるだろうと事業者は考えていますが、もっと西のほうの自治体ですとむしろお金を払って設置してもらいたい形で行っているところもあると伺っております。協定を結んでいるということもありますので、公共施設に置くのと、学校とか病院に昨年はお願いしに行って置かせていただいたというところではあります。

そういった形で認知が広がっていけば、さらにお願ひしたときにご協力いただけたところも多いかなと思っておりますので、今後コンビニエンスストアですとか、そういったところもさらに広

げていければと考えております。

会長：

置かせてほしいと申し入れて、断れたケースはありますか。

事務局：

はい。駐輪場がイベントのときなどに溢れかえってしまう状況があったりすると、シェアサイクルに従来の利用者の方の枠を取ってしまうみたいなことを気にされる方もいて、そうなったときにはむしろ自転車で来ている方が多いのだから、市外からの利用者向けにラックがあれば駅で降りて乗ってこられるわけなので、むしろ置いてくださいと言われることがあるかもしれませんよと口説いたりしながら徐々に増やしてきているような状況です。

会長：

ほかにはいかがでしょうか。それでは、この件につきましても、また今後逐次報告をお願いしたいと思います。

以上で議題として設定されたものについては終了いたします。

この後、報告事項が2点ございます。1つ目、ムーバスの再構築事業について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：

現在、武蔵野市において、ムーバス再構築に向けた検討を行っています。これは、共同運行路線も含めた全路線を対象に検討するもので、並行して武蔵野方式デマンド交通などについても検討すると伺っています。

現段階で武蔵野市から示されているスケジュール（案）は、ムーバス再構築及び武蔵野方式デマンド交通などに関する協議、検討、実証実験を経て、令和11月1月から本格実施となっていますが、現時点の案であり関係機関等との協議により変更する場合があります。

なお、ムーバスは7つの運行エリアがあり、このうち、境・東小金井線は小金井市と、境・三鷹循環は三鷹市との共同運行路線で、両路線とも小田急バスが運行しています。小田急バスとしては、同エリアの武蔵野市内を運行する境西循環も含めた3路線について再編を図りたいとの意向です。

よって、ムーバス境・東小金井線と境・三鷹循環の共同運行路線については、小金井市、小田急バス、武蔵野市、三鷹市の四者で継続的に協議を行ってまいりますので、検討の進捗について、適宜、協議会に報告してまいります。

会長：

特に資料はございませんが、何か気になったところでご質問等はいかがでしょうか。これからの協議の話ですので、適宜報告をしていただくようにしたいと思います。

それでは、2つ目、ＪＲ中央線武蔵小金井駅のホームドア運用開始について、ＪＲさんからご説明ということですので、よろしく願いたいします。

市川委員（倉科委員代理）：

—資料１０に沿って説明—

会長：

ご質問はありますか。よろしいでしょうか。ついこの間ついたところですが。

市川委員（代理）：

お待たせしてしまってすみません。

会長：

よろしければ、以上で本日の用意された内容はすべて終了いたしました。ほかに何か全体を通して、あるいは何かご意見、ご質問がありましたらお願いしたいのですが、せっかく資料１１として出ているので、これについて紹介してください。

事務局：

—資料１１に沿って説明—

会長：

先ほど冒頭に平野さんから評価のご意見をいただきましたが、ほかに何かご感想等はございますか。

池内委員：

私も CoCo バスだよりを見て、結構パン屋さんとか利用させてもらっていますが、誰が作られたのですか。

事務局：

交通対策課の職員が作成していますが、係の中で、一緒に取材に行ったり、こういった記事にしようかというのは相談しながらやっております。

会長：

ほかにはいかがですか。インタビュー記事もなかなか面白いなと。ＪＲさんには耳が痛いかもしれませんが、「お客様から中央線よりも時間に正確だねと言われた」と。

よろしければ、内容はすべて終了になりますので、事務局にお返しして、あとは事務局からお知らせ等をいただければと思います。ありがとうございました。

	事務局： — 事務連絡 — 事務局： 以上となります。本日はどうもありがとうございました。 以上
--	---